



ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報 発行編集／NPO法人目黒体育協会
発行日／平成26年7月16日

『みんなでつくろう体育協会 生きがいと健康の輪』

NPO 法人目黒体育協会 スローガン

『新会長あいさつ』

NPO法人目黒体育協会

新会長 藤岡 直彦



目黒体育協会、『中興の祖』と言われる石塚会長が自ら敷いた75才定年制によって、退任されることは大変残念な事であります。7年間本当にご苦勞様でしたと感謝申し上げます。

後を任された私にとって、石塚前会長の辿った道をそのまま引継げば良いと思われませんが、それだけでは抱負として満足いただけません。

私は総会に於いて石塚路線を引継ぐと申し上げました。それは前会長がそれまで成就できなかった事、又これからやろうとしたことは何であったかを模索し、その実現に向うことであろうと思います。

第一に、目黒体育協会37団体が自ら一致団結し強力な地固めをすることです。私はある場合で、目黒区選手団が都民大会で優秀な成績を挙げ、常に上位入賞を果たす事を体育協会の目標であると宣言いたしました。区民である小中学生と連携をとり、底上げを図り、その子供達に体協への協力を促し、底辺を拓けるように努めてまいります。又都民大会強化理事を設け、10年計画を立てて実現に向ってまいります。

第二に、女性の活用です。既に一般社会では、女性の重要なポストへの登用、女性の進出、活躍が目立っています。目黒体育協会でも女性部会を設け、責任ある部署で力を発揮してもらえよう

にしたいと考えております。

第三に、中央体育館指定管理部門とのよりよい関係強化と協力体制の充実であります。新しい館長とタッグを組み、職員の方々の協力のもと、区民の皆様に愛される体育館運営をとげてまいります。

しかしながらこれらの実現のためには、体育協会理事をはじめ、一般会員の皆様からのご協力とご支援なくしては成就できません。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

また先に行われた第67回都民大会開会式では、15回目を迎えた障害者大会との合同開会式でもありました。この障害者大会に目黒区の参加は一度もありません。難題ではありますが、行政の方々とも相談し、参加実現へ第一歩を踏み出したいと思っております。

最後になりますが、先に逝去された寺脇登目黒体育協会前専務理事に哀悼の意を表します。

『総務部長あいさつ』

大塚 雅信



総務部長を引き受けた大塚です。引き受けてはみたものの、さて総務の仕事は何だろうと考えることしきりであります。まず、全体の事務等を統括する立場にあることは、言うまでもないことです。

また目黒体育協会は、他に事業部・広報部の二部があるので、この二部の仕事に含まれないもの

総てが、総務固有の仕事と理解しています。

そこで総務部として「何をやるのか」「何がやれるか」は、前任者が投げかけている「テーマ」に目を向けたいと思います。

「利用者の立場」で各種行事を見ていくこと、見直していくこと、(アンケートをとってもいい、聞き取り調査でもよい) 相手の話をよく聴いて、事を進めていくつもりです。それは体協内部においても然りです。

各部のパイプ役として話をじっくり聞き、部員と相談して問題解決にあたりたいと考えております。

微力ですが、精一杯働いてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

《事業部長あいさつ》

谷川 宏治



今年度、藤岡直彦新会長に代わり、新しい役員人事が行われ、新しい体育協会が始動しました。前年度に引き続き、本年度も私が事業部長の大役をお引き受けすることになりました。

事業部の主な活動は、都民大会の結団式、春秋の目黒区体育祭の開会式、閉会式の準備、進行等の立案と運営です。

今年も毎月第4木曜日に13名の事業部員が集まり、積極的に活動に取り組んでいます。事業部にはベテランの方が多く残っており、その方々をはじめ部員の適切なアドバイスに助けられています。

2020年東京オリンピック・パラリンピックも決定し、目黒からもオリンピック選手を出すという思いで、事業部は体育協会の事業に更に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

《広報部長あいさつ》

天野 聡士



前年度は初めての広報部長として活動させていただきましたが、広報部員の協力により無事に務めることができました。その結果として体協広報誌『ダッシュ』を予定通り発行することができました。

今年度は、前年度より『ダッシュ』の内容にこだわり、区民のみなさんが手に取りたくなる広報誌に成長させることを、部員一同で考えながら活動していきたいと思えますのでご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

また各加盟団体の方々からの掲載依頼などにも対応していきますので、積極的に体育協会へご連絡いたします。

『中央体育館は元氣工房』

〜皆さんの元氣づくりをお手伝い〜

中央体育館 館長 藤平 正信



この4月より中央体育館(指定管理者NPO法人目黒体育協会)館長に就任しました藤平です。

目黒区の体育施設が指定管理者制度を取り入れた平成20年の立ち上げより運営に携わってきました。今後も、前館長が推進してきました「地域

に根ざした体育館」を積極的に実践していきたいと思えます。

多様な課題がある中、特に①次世代を担う子供達の健全な育成②ストレスの多い現役世代の健康管理③高齢者が元気に生活できる体力・活力の維持④子育て世代への親子活動支援⑤障害を持つ方のスポレクへの参加促進について対応し、ご利用いただく皆様に「健康で快適に生活できるよう」お手伝いいたします。

そのためには、これまで積み上げてきた経験を生かし、指導員と協力し、元気になれるプログラムを充実させ、提供できるように職員一同努力して参りますので、宜しくお願い致します。



NPO法人目黒体育協会

平成26年度事業計画

目黒体育協会事務局 諏訪 誠一郎

さる4月24日、NPO法人目黒体育協会通常総会が開催され、平成25年度事業報告、平成26年度事業計画、役員体制等が審議、了承されました。

◎平成26年度開催及び参加する事業

一、区民体育祭を目黒区とともに主催、区民のために大会を開催し競技力の向上と地域スポーツ振興を推進します。

- ① 第52回体育祭春季大会 35種目
- ② 第53回体育祭秋季大会 35種目
- ③ 第53回体育祭冬季大会 2種目
- ④ 第52回体育祭閉会式 6月28日 碑文谷体育館

⑤ 第53回体育祭開会式 9月14日 中央体育館

二、都民体育大会に選手を派遣、区市町村対抗の大会に参加し、スポーツの振興と各地区との友好親善に寄与します。

① 第67回都民体育大会春季大会 19種目 274名参加

② 第68回都民体育大会夏季大会（水泳）

③ 第68回都民体育大会冬季大会（スキー・駅伝）

※八位以内に入賞し競技得点を獲得した団体には褒賞を出す予定。

三、都民生涯スポーツ大会、選手派遣

四、都民スポーツ大会に派遣

五、全国青年大会に派遣

◎東京都・東京都体育協会委託事業

一、ジュニア育成地域推進事業、ジュニアスポーツの普及と競技人口の拡大を図り、2020年の東京オリンピックへ向けて競技力向上を推進する事業。 11団体 17事業

二、シニアスポーツ振興事業

4団体 4事業

◎顕彰事業

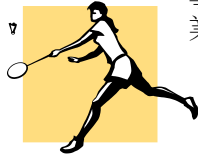
一、生涯スポーツ功労者及び団体表彰

（東京都体育協会）

二、目黒区スポーツ優秀選手及び優秀団体

特別表彰（目黒体育協会） 6月閉会式にて

三、目黒区政功労者表彰（目黒区）



◎指導者派遣事業

派遣可能種目の再検討を加え、派遣方法、手続きを簡略化し、区民の要望に応えられるように再構築します。

◎親睦事業その他



・新年会、2月7日（土）を予定しています。
・東京都体育協会の「被災地支援事業」スポーツ交流事業を受け入れる準備をしています。

以上

平成 26・27 年度 NPO法人目黒体育協会 新役員

会 長	藤岡 直彦	理 事	熊谷 直樹
副 会 長	和栗 弘一	理 事	延命 時江
副 会 長	堀内 謙治	総務部長	大塚 雅信
副 会 長	塩川 和典	事業部長	谷川 宏治
専務理事	神原 康幸	広報部長	天野 聡士
常務理事	玉川 進	指定管理事業	藤平 正信
会 計	戸澤 真一	相 談 役	石塚 友宏
理 事	松野 好晴	監 事	清水 健一
理 事	中村 豊	監 事	石塚 修二

どうぞ宜しくお願い致します！！

NPO 法人目黒体育協会 賛助会員募集

目黒体育協会では社会体育事業を通し、区民の皆様の健康づくりと青少年の健全育成、また競技力向上等の事業推進のため、広く区民の皆様にご理解をいただき、賛助会員となっていただきますようお願い致しております。青少年またスポーツ選手の健全育成と目黒区の社会体育の発展にご賛同いただける方は、下記体協事務局までご連絡下さい。

《年会費》 ●個人会員 一口 1,000 円

●法人(団体)会員 一口 10,000 円

※収集した個人情報は、賛助会員に係わる通知等以外の目的には使用いたしません。

◇問合せ：NPO 法人目黒体育協会事務局

TEL:03(5722)8088 FAX:03(5734)1032

「第67回都民体育大会春季大会結団式」

5月9日、碑文谷体育館に於いて第67回都民体育大会春季大会結団式が行われました。参加選手を代表してテニスの高林邦年男子監督による力強い選手宣誓の後、女子の松澤志保監督に記念品が授与されました。第二部では来賓の方々の激励のお言葉に、選手一同大会への決意を新たにしました。



高林監督の選手宣誓



藤岡会長の挨拶

『第67回都民体育大会春季大会開会式』

5月11日、東京体育館において都民大会開会式が開催されましたが、目黒体育協会からは、例年よりやや少ない17名の参加となりました。

式典はパラリンピック・パラリンピックに3大会連続出場し、2020オリンピック・パラリンピック招致のプレゼンで貢献された佐藤真海選手をはじめ、オリンピック、パラリンピアンの方々が大いに盛り上げてくださいました。来年の開会式には是非お誘い合わせ大勢の方のご参加をお待ちしております。また同時に東京都体育協会表彰が行われ、目黒体育協会からは、左記の方が受賞されました。



光る卵から何が出てきたでしょう？
答えはページ左下



目黒区選手団

第52回目黒区体育祭閉会式

第67回都民体育大会春季大会解団式・表彰式

6月28日（土）、目黒区体育祭閉会式並びに都民大会目黒区代表選手団の解団式において、目黒区のスポーツ表彰、NPO法人目黒体育協会の特別表彰が行われました。

- ☆生涯スポーツ功労者
松岡 一二三(バレーボール連盟)
- ☆生涯スポーツ優良団体
目黒区グラウンド・ゴルフ連盟



平成26年度目黒区スポーツ表彰受賞者



- 海老沼 匡 2013年ブラジル・リオデジャネイロ世界柔道選手権大会 優勝 (男子66kg級)
- 長尾 智之 アジアユースパラ競技大会マレーシア2013 出場 (男子100m背泳ぎS14、200m自由形S14)
- 大西 瞳 2013IPC陸上競技世界選手権大会 出場 (女子走幅跳びT42、100mT42)
第13回全国障害者スポーツ大会 優勝 (女子走幅跳び、100m)
- 中井 貴裕 第43回全日本実業柔道個人選手権大会 優勝 (男子81kg級)
- 木戸 慎二 平成25年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 優勝 (男子60kg級)
- 岩下 江里 ソニー生命第35回レディーステニス大会 優勝 (女子ダブルス)
- 高城 美恵 ソニー生命第35回レディーステニス大会 優勝 (女子ダブルス)



目黒区体育祭青木大会会長の挨拶



谷川団長より体協会長へ団旗の返還



藤岡会長から金一封を受ける高城・岩下両選手



目黒体育協会役員と特別賞受賞者の方々

特別表彰
特別賞

齋藤 雅子(目黒区水泳連盟)
永年の「ふれあい水泳教室」における障害者へのスポーツ振興と指導への功績

NPO法人目黒体育協会
特別表彰【個人】

- 土屋 慶子(卓球)
第66回東京卓球選手権大会
ハイセブンティの部 優勝
- 肥後 正子(なぎなた)
第56回東京都なぎなた大会
準優勝
- 大越 万里子(なぎなた)
第56回東京都なぎなた大会
準優勝

NPO法人目黒体育協会
特別表彰【団体】

- 目黒区バレーボール連盟(男子)
第62回全国青年大会 優勝
- 目黒区バレーボール連盟(女子)
第67回都民体育大会 準優勝
- 目黒区卓球連盟(女子)
第67回都民体育大会 準優勝
- 目黒区アーチェリー協会(女子)
第67回都民体育大会 準優勝
- 目黒区ハンドボール女子チーム
第67回都民体育大会 第三位

答
ゆりーと君でした



● 目黒区音楽体操協会 会長 湯澤きよみ

体操を生涯に亘る健康エクササイズとして、長く楽しく続けるために生まれた「音楽体操」はその名の通り、音楽にのってみんなで一緒に楽しく動きます。スローやアップテンポを含む、いろいろなジャンルの曲がカラダと心を喜ばせます。

振り返ると、中央体育館で昭和42年「20円の美容体操」からスタートし、当時は体育館が生徒で一杯になる盛況ぶりでした。昭和58年に名称を内容にふさわしい「音楽体操」に変更。リーダー養成も始まり、昭和60年目黒区体育協会に加盟。現在では一般公開として「一般」「シニア」「親子」を対象に目的別音楽体操が行われ「ウォーターエクササイズ」や「ジュニア新体操教室」も行っています。

中央体育館に次いで駒場・碑文谷・八雲体育館と順にオープンし、近くの体育館でできるようになりました。また目黒区体育祭では平成17年から「みんなで集う音楽体操」を行い、体操の交流会を続けています。



この10年、激動の社会情勢のなかで「自分の健康は自分で守る」ことの意識づけがより一層求められるようになりました。これからも、音楽体操の普及を通して区民の楽しい健康づくりと、良き指導者の育成に尽力したいと思えます。興味をお持ちになりましたら、ぜひ一度見学してください。お待ちしております。

● 目黒区トライアスロン連合 会長 森本逸志

トライアスロンはすでに2009年シドニー大会からオリンピック種目になり、2016年岩手国体でも正式種目になります。

当連合は、水泳、自転車、ランニングの複合競技であるトライアスロンなどを通じて、目黒区民への体育振興に寄与することを目的に設立されました。

活動としては、

- ① 選手として国内外の大会に参加。
- ② ランニング練習会（毎週）、自転車練習会（不定期）、練習合宿の実施。

③ 目黒区のさんまアクアスロン（水泳とランニング）大会の実施。また、東京都や他の地区の団体が実施する大会に、審判派遣などのサポート。

④ ジュニア・シニアトライアスロン教室を開催し、初心者から上級者まで、目標・レベルにあわせて普及育成の活動。

トライアスロンは「完走者は全て勝者である」という考えから、順位に関係なく完走者は全員、ゴールテープを切ります。

何から始めるの？どんなものが必要なの？オリンピックに出たいんだけど等：様々な要望にお応えします。もちろん一種だけの方の練習参加も、また興味の有る方、大会のお手伝いでも歓迎です。



目黒区トライアスロン連合で検索！

★ 賛助会費の御礼

平素から弊協会の運営にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度左記の方々から賛助会費を頂き、厚く御礼申し上げます。

この貴重な財源を青少年から高齢者の方々まで広く区民のスポーツ振興及び健康増進に活用させていただきます。

今後とも変わらぬご支援、ご協力の程お願い申し上げます。

★ 平成26年度 賛助会員ご芳名 6月末現在

【団体】 目黒区田道ベタンククラブ

目黒区柔道連盟

目黒区ソフトテニス連盟

目黒区なぎなた連盟

目黒区弓道連盟

【個人】 市島 大二郎 相羽 克純

玉川 進 富士元 昌彦

高橋 俊太郎 (以上柔道連盟)

大島 巖 奥野 一郎

渋谷 定男 中村 茂弘

大塚 雅信 (以上釣魚連合会)

高橋 元雄 鈴木 國雄

小林 利行 諏訪 誠一郎

(以上弓道連盟)

藤岡 直彦 和栗 弘一

堀内 謙治 塩川 和典

(以上目黒区体育協会)

(敬称略、受付順)

